キリスト教の教派

福音派とは何か

2025.4.10

山崎　誠

自己紹介

- 職歴
- 1973　大阪工場
- 1977　阪本工場
- 1977　樹脂製品事業部(総括)
- 1980　樹脂製品事業部営業部(EPS営業)
- 1983　人事部
- 1988　企画調査室
- 1992　樹脂成形品事業部(KLF,PSP,ES)
- 2000　カネパール事業部(EPS,PSP)
- 2005　樹脂製品事業本部
- 2009　定年退職

教会歴

〇中学時代

日本ナザレン教団尾山台教会　**福音派**

〇高校時代

日本イエスキリスト教団　**福音派**

新南陽教会(家庭集会)

〇大学時代

北白川集会　**無教会**

〇1988~

日本基督教団高槻日吉台教会　**会衆派**

2000受洗

現在　役員(会計担当)

キリスト教とは

○イエスを救い主(キリスト/メシア)として信仰する宗教

①イエスは**神の子**であり、**救世主(キリスト)**として神からこの世に遣わされた
②生まれながらにして「原罪」を背負った人類の**罪を贖うためイエスは死んだ(贖罪)**
③昇天したイエスが**世の終わりの時に再び現れ(再臨)**、**最後の審判**を行ない、善をなす者に永遠の命を与え、神の国を完成させる。

「父なる神」と「その子イエス」と「精霊」を唯一の神**(三位一体)**として信じる

三元徳　**信仰、希望、愛**
黄金律　何事でも人からして欲しいと望むことは、人にもその通りにせよ

キリスト教の経典

・旧約聖書(ヘブライ語) ：ユダヤ教正典
　39文書(カトリック/聖公会46文書)
　（律法、預言書、史書、諸書）

・新約聖書
　27文書
　（福音書4、使徒行伝、パウロ書簡、公同書簡、ヨハネ黙示録）

・聖伝
　　大伝承：使徒伝承
　　諸伝承：神学、おきて、典礼、信心上の諸伝承

キリスト教の教派(大分類)

	教派	特徴	源泉	儀礼	サクラメント	職制
東方教会	**正教** オーソドックス	使徒達の 信仰と教会 を継承	聖伝 聖伝に聖書が含まれ第一聖伝	捧神礼	**機密**	聖職者と信徒を区分 総主教、府主教、大主教 主教(修道士から、独身) 司祭、補祭
西方教会	**カトリック** 公同 普遍	ペトロの後継者(教皇)と 使徒の後継者(司教)の統治	聖書が聖伝において解釈、理解	典礼	**秘跡**、洗礼、堅信、聖体、赦、塗油 叙階、結婚	聖職者と信徒を区分 教皇(枢機卿)、司教 司祭、補祭(独身男性) 修道会制度
	聖公会 アングリカン イギリス国教会	中道の教会	聖書、伝統、理性	礼拝	聖尊	聖職者と信徒を区分 歴史的主教制 主教、司祭、執事
	プロテステント 福音主義教会	万人祭司	聖書のみ	礼拝	典礼 洗礼、 聖餐	監督制 長老制 会衆制

正教会

信仰と生活の基準は聖書と聖伝

○７０人訳旧約聖書(続編)+新約聖書

○聖伝

　７つの公会議決定　ニカイア信条、カルゲドン信条

聖画(イコン)を崇敬

サクラメント(聖機密)

　「洗礼」「ミサ(聖餐)」「悔悛(告解)」「堅信」「結婚」「塗油」「叙階」

神学の中心　アタナシウス(295~373)=ヨハネ的

多様な職制

○４総主教区(コンスタンチノポリス、アレキサンドリア、アンテオケ、エルサレム)

○総主教、府主教、大主教、主教、長司祭、司祭　等

ローマ・カトリック教会

信仰と生活の基準は聖書と聖伝

〇新共同訳聖書：旧約聖書(続編)+新約聖書

〇聖伝

　・7つの公会議決定　教皇の発する教義

マリア信仰(無原罪、被昇天)

サクラメント(聖機密)

　「洗礼」「ミサ(聖餐)」「悔悛(告解)」「堅信」「結婚」「塗油」「叙階」

神学の中心　アウグスチヌス「神の国」(354~430)

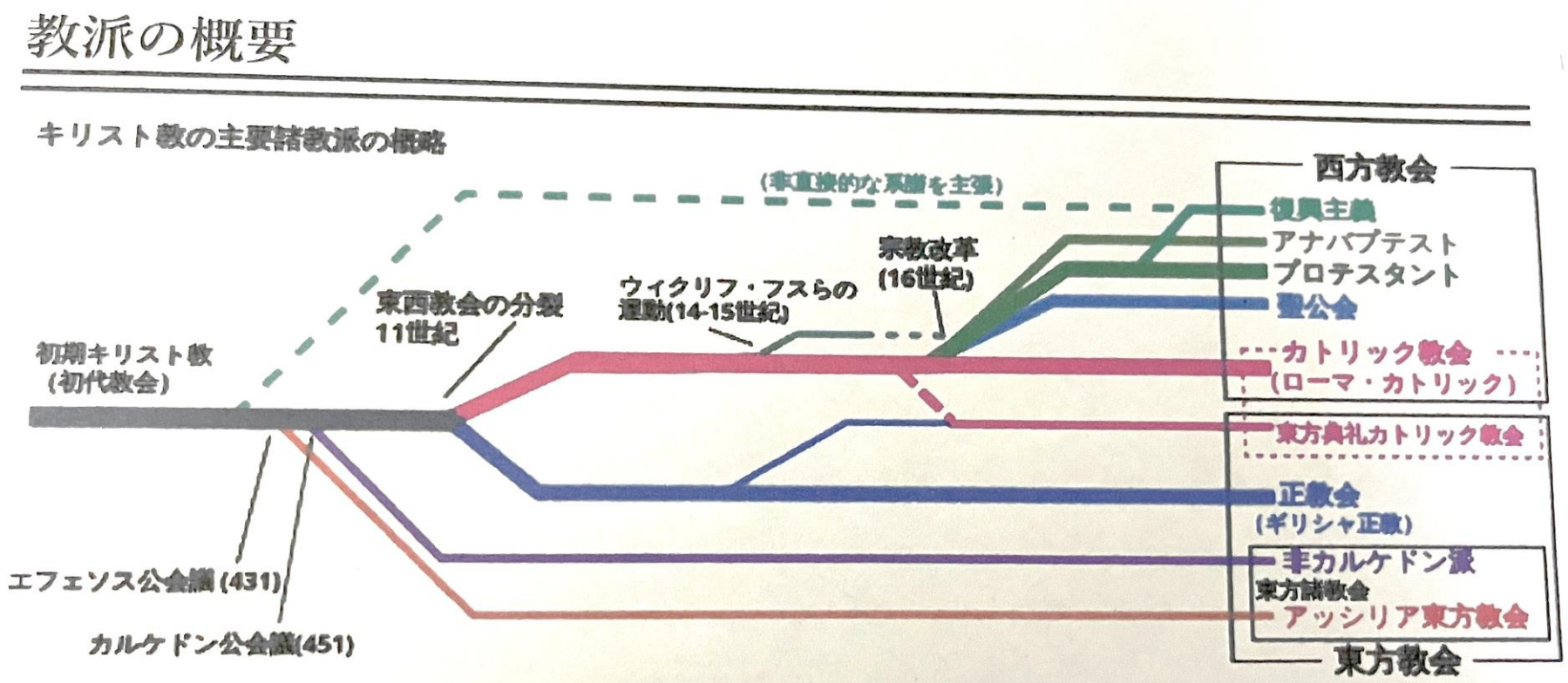
職制

〇教皇頂点のピラミッド

　　教皇－(枢機卿)ー大司教－司教－司祭(神父)=信徒

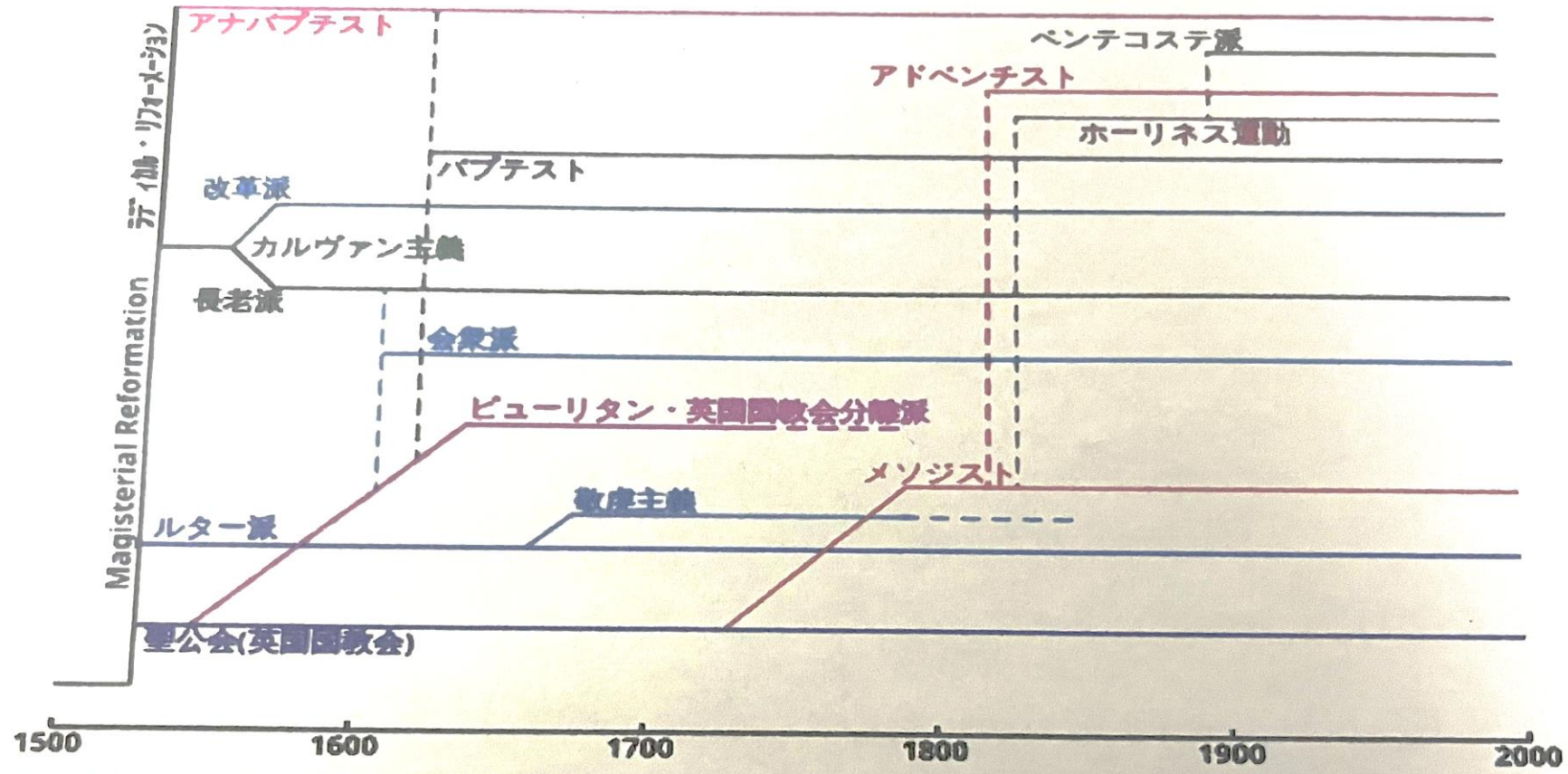
儀式的(典礼的)、聖像、聖画、修道士・修道女

教派の概要(宗教改革まで)



キリスト教諸教派の系統概略図

宗教改革諸派の概略図



西方教会・宗教改革諸派の系統概略図

宗教改革諸派

	国	出来事	教義	社会的立場	後継教会
マルティン ルター	ドイツ	1517、 95ケ条の論題 贖宥状(免罪符) ルター訳聖書	信仰義認 聖書のみ 万人祭司	中道派 農民戦争反対派 結婚可 反ユダヤ コラール重視	ルター派教会
フルドリッヒ ツヴィングリ	スイス チューリッヒ	1525、ミサ廃止	聖書のみ 万人祭司 協働(善行)重視	社会変革志向 急進派 チューリヒ市支配(内戦敗死) 独身制排除	アナバプテスト 長老派教会
ジャン カルヴアン	フランス ↓ ジュネーブ	1536 キリスト教綱要	神の絶対性 聖書の権威 予定説 職業召命感 (長老政治)	ジュネーブで 神権政治	改革派教会 会衆派教会
ヘンリー８世	英国	1534 国王至上法 (首長令)	カトリック同様 ↓ 中道		聖公会 メソジスト

アングリカン教会、聖公会

カトリックとプロテスタントの中間に独自の位置
〇イギリス国教会に由来

〇主教制
　主教:使徒に由来し、使徒の権威とカリスマを継承
　大主教ー主教—執事

〇祈祷書
　礼拝諸式をまとめた礼拝用の書物
　三十九箇条(宗教要覧)

プロテスタント諸派(1)

○ルーテル教会

聖書のみを強調　「キリストのみ」「恵みのみ」「信仰のみ」→信仰義認

全信徒祭司性(万人祭司)　　○義とされた人

「大小教理問答」(ルター)「アウグスブルグ信仰告白」(メランヒトン) 重視

サクラメント(聖典礼)、洗礼、聖餐

「監督制」

○改革派教会、長老派教会

聖書のみ 「キリストのみ」「恵みのみ」「信仰のみ」→**カルブァン主義**

サクラメント(聖典礼)、洗礼、聖餐

予定説「選び」：行為重視　　○忠実な僕

「長老制」と「会議制」

長老が教会指導({教師長老」と「信徒長老」)、会議制

(小会)-(中会)-(大会)

プロテスタント諸派(2)

○バプテスト教会

個人の信仰重視
洗礼は浸礼(幼児洗礼不可)
アナバプテスト(特にメノナイト)起源
大勢：英国教会分離派(カルヴァン主義)

○会衆派(組合)教会

英国教会分離派(カルヴァン主義)、清教徒、ピルグリムファーザーズ
米国で大勢力、マサチューセッツ州・ボストン、ハーバード大、イェール大
ウィンスロップ「丘の上の町=アメリカ」(マタイ：5-14)→レーガン演説
「神との契約」
各個教会の自治
アメリカン・ボード→日本

プロテスタント諸派(3)

○メソジスト教会

18C 英国国教内の信仰覚醒運動(ジョン・ウェスレー) 祈りと規律を強調

源泉：「聖書」「理性(経験の積み重ね)」「初代教会の教え」

神学の中心：「キリスト者の完全」　　○完全とされたキリスト者

人間の尊厳、自由な意思決定を認める

完全な救いを目指すプロセス・倫理的、道徳的生き方→**アルミニウス主義**

→救世軍(ブース)

カルヴァン主義とアルミニウス主義

カルヴァン主義とアルミニウス主義との比較
（いわゆるカルヴァン主義のチューリップ）

カルヴァン主義（『ドルト信仰基準』より）		アルミニウス主義（『レモンストラント五条項』より）
Total Depravity	「全的堕落」 人は完全に堕落しており，自分の意志では神に仕えることを選べない。	「自由意志」 人は新しく生まれなければならない。
Unconditional Election	「無条件的選び」 神は無条件にある人を救いに，ある人を滅びに選ぶ。	「条件的選び」 神は御子イエス・キリストを信じ，その信仰に留まるものを救う。
Limited Atonement	「限定的贖罪」 キリストの贖いは救いに選ばれた人のためだけにある。	「普遍的贖罪」 キリストはすべての人の救いのために死にたもうた。したがって，すべての人が信仰によって救われうる。
Irresistible Grace	「不可抗的恩恵」 予定された人は神の恵みを拒むことはできない。	「可抗的恩恵」 人は神の救いの恵みを拒むことができる。
Perseverance of the Saint	「聖徒の堅忍」 救いに選ばれた人は最後まで信仰を固く守って耐え忍び，必ず救われる。	「恩恵から転落する可能性」 キリスト者が恵みから脱落することはあり得る。

アルミニウス主義者が定めた『レモンストラント五条項』に対抗して，カルヴァン主義者（長老派，改革派，ピューリタン［組合派］）はドルト会議で自分たちの信仰の基準を５条項にまとめた。この五つの条項は，その頭文字をとって TULIP という語で表す。

プロテスタント諸派(4)

○メノナイト教会など

敬虔主義(神秘的)、ルター派内部の改革運動「熱狂派」

信仰の内面化と魂の敬虔を力説　実践的信仰>知的な信仰

・メノナイト教会(16Cメイ・シモンズ)　平和主義

・クェカー運動(16C後半フォックス、イングランド)　戦争否定→フレンド派

・ブレザレン(同胞)教会　(18C初)、霊的経験重視

○アドベント教会など

黙示文学的預言(ダニエル書:旧約、ヨハネ黙示録:新約) を重視

キリストの再臨に注目し信仰生活　18C以降アメリカ：アドベントグループ

セブンスデーアドベンチスト　土曜安息日

律法：食生活(肉食、酒･たばこ禁止)、十一献金

米国展開(1)

1.イギリス人植民地の誕生とピューリタン

- 1607　イギリス国教会　バージニア
- 1620　分離派ピューリタン(メイフラワー号)　プリマス(マサチューセッツ)
- 1630　非分離派　ボストン(マサチューセッツ)
  →組合派　ハーバード大、イェール大
  →「信仰の自由派」ロードアイランド、バプテスト

・1681～ペンシルベニア州、フィラデルフィア(ウィリアム・ペン)「信仰の自由」
クェーカー、メノナイト、ルター派、長老派(スコットランド、アイルランド)

・1633～メリーランド(ボルチモア卿)
カトリック弾圧→イギリス国教会

・1654　ニューアムステルダム(ニューヨーク)　ユダヤ教徒
宗教的に寛容な風土

米国展開(2)

2.大覚醒とアメリカ独立(1776)

・18C中　「大覚醒」

ジョナサン・エドワーズ、ジョージ・ホットフィールド

組合派　イェール大

長老派　1746ニュージャージー大→プリンストン大

・人口増加と教派の多様化

スコットランド、アイルランド、ドイツ、フランス　長老派・ルター派・カトリック

黒人奴隷（メソジスト派、バプテスト）

・アメリカ的特徴

教派主義

「教理」と「職制」(実際は社会階層、民族)

「信仰の自由」と「政教分離」

米国展開(3)

3.リバイバルと南北戦争

・1789合衆国憲法　　公職の資格要件としての宗教上の審査禁止

・1791合衆国憲法修正1条　国教の禁止、信教上の行為の自由侵害禁止

◯リバイバル　フロンティア(西部開拓地)で圧倒的成功

1801.キャンプミーテイング

罪に対する神の怒りと厳しい裁きを強調、罪の自覚と回心を迫る

チャールズ・フィーニー(1835~ オーバリン大神学教授)

個人の自由意志と神の恵みの両方強調

フェミニスト、奴隷廃止論者

◯南北戦争(1861-1865)

長老派、バプテスト派、メソジスト派の南北分裂

米国展開(4)

4.プロテステントの新潮流

①モダニズム(自由主義神学の信奉者)

19C後半　ドイツ自由主義神学の流入(留学)

ユニオン神学校(ニューヨーク)、シカゴ大神学部

知的エリート、社会福音

②反対潮流

モダニスト牧師の難解な説教についていけず、教会の社会活動にも気後れする人々

1ホーリネス運動　「四重の福音」新生・聖化・紳癒・再臨

2ペンテコステ運動「異言」「奇跡的治癒」➡白人低所得者層

3ファンダメンタリスト　新千年王国説：キリストの再臨は近い

←社会不安・伝統的価値観の危機(移民の増加と工業化)

「ファンダメンタルズ」(パンフレット)

自由主義神学(1)

「歴史的(伝統的)、組織的な教理体系から、自**由に個人の理性的判断に従って再解釈する」=新神学**

〇19Cに進展、主流エキュメニカル派の多くが採用

・シュライエル.マッハー・アルブレヒト.リッチェル・アドルフ.ハルナック

①科学的見方を許容し、聖書に記されている神話的要素を必ずしも科学的、歴史的事実と主張せず宗教的に有益な寓話と見なす

(天地創造、ノアの箱舟、バベルの塔、ヨシュア記)

②聖書本文に対する批評的な研究・解釈・非神話化を支持し、書かれた言葉が書かれた時代の人々にどう読まれたかを解釈の第一義とする。

各書の成立に関わる伝説を必ずしも採用せず「聖書無謬説」「逐語霊感説」「聖書無誤」を採らない。

(モーセ五書、イザヤ書)

③モーセ五書の記者がモーセであるという伝統的理解を否定し、文書仮説を支持する。

④古文書学、考古学、史学の成果を最大限活用してキリスト教信仰を再構築。

自由主義神学(2)

急進派

⑤自由主義者(リベラル)やフェミニスト神学者は人工妊娠中絶擁護の立場

過激急進派

⑥マリアの処女懐胎、イエスの復活を事実としない

　神の存在も肯定しない。

(批判)

新正統主義

自由主義神学の行きすぎに対する「危機神学」「弁証法神学」

カール・バルト、エミールプルンナー、ラインホルトニーバー

ルドルフ・アルトマン

自由主義神学(3)

(批判的見解)

メソジスト・ウェスレー派

聖書的というより理性的で人間主義的

理性：啓蒙主義の神なき理性であり、それゆえ限界

人間：人間は全て神の前に罪人であるので罪・自己中心に傾きすい。

改革派

自由主義神学はキリスト教とは別の宗教

キリスト教は聖書の上、自由主義神学は罪人の感情の上に立っている

米国展開(5)

③ファンダメンタリスト(根本主義)・モダニスト論争(自由主義神学)

1880年代～1920年代　所属する教派にとどまり論争

1 北部長老派　ユニオン神学校教授弾劾
　　→離脱　1936　正統長老派教会

2 北部バプテスト　シカゴ大神学部
　　→離脱　1933　正規バプテスト連盟、保守バプテスト同盟

3 1920年代　反進化論　反進化論法・スコープス裁判(1925)
　　ファンダメンタリストの聖書理解一貫性のなさが暴露

米国展開(6)

④福音派

モダニストにはついていけないがファンダメンタリストほど攻撃的でもない素朴な信仰を持つキリスト者

(第次大戦後)

1ラジオ伝道　チャールズ・フラー(穏健派ファンダメンタリスト)

2新福音派　ビリー・グラハム(マスメディア動員の大リバイバル集会)

メッセージのシンプル性「救い主を受け入れ、新生」

政治的影響力　アイゼンハワー、ジョンソン、ニクソン、ブッシュ親子

⑤政治化したファンダメンタリスト

1福音派の成長と主流派の減少

2文化戦争(1960年代～)

妊娠中絶、同性愛、公立学校における宗教教育(祈り、十戒掲示など)

ポルノ規制、銃規制、移民政策

米国展開(7)

3ジミー・カーター(1976~1980)

誠実な福音派(南部バプテスト連盟)

政教分離、民主党リベラル路線

4ロナルド・レーガン(1980～1988)

政治化したファンダメンタリストグループが大同団結して支援

=キリスト教右派、宗教右派

「聖書的宗教は保守的政治活動を支持する」中絶反対や家族的道徳を愛国心と結びつける

素朴な信仰の福音派が保守政治に取り込まれる

1980年代　宗教右派　テレビ伝道師

政治団体　ｸﾘｽﾁｬﾝ連合　ブッシュ親の選挙母体

プロミスキーパーズ　統治の神学➡キリスト教再建主義

米国展開(7)

5 ジョージ・W・ブッシュ(2001~2009)

宗教右派の決起で当選　白人福音派の84%

宗教右派と一線を画し、愛国心を持つキリスト者を牽引するリーダーに変貌

9.11、イラク戦争

福音左派は貧困や環境問題に関心

「シカゴ宣言」(1973) 再臨を待つだけでなく、神が社会正義の実現を望む

→オバマの宗教上のアドバイザー

6 バラク・オバマ(2009~2017)

会衆派プロテステント

率直な信仰告白　福音派、カトリックからも支持

ラインホルトニーバーの神学書(新正統主義)

キング牧師　「国民と統合」

福音派とトランプ

社会状況

①LGBTQ+と主流派の分裂

米国聖公会(2009) 長老派(2012) 合同メソジスト(2020)

②ムスリム人口増加(1990 120万人➡2017 345万人)

③宗教人口の変化

Nones =無宗教　1990代 8%➡2016 24% (白人若年層：リベラル傾向)

白人福音派　2006 23%➡2017 17%

主流派はより減少

④メガチャーチ(中産階級若年層)と「成功の福音」

メガチャーチ　1990 85万人、2000 255万人、2010 550万人、2017 700万人

2000人以上収容の礼拝堂、体育館・ジム、音楽室、教室、カフェ等の複合施設　　社会活動も

成功の福音　　自分を肯定、人生の成功を神の祝福とする←N.V.ピール

福音派とトランプ(2)

⑤キリスト教シ**オ**ニズム

ユダヤ人の聖地帰還➡世界最終戦争➡キリストの再臨

イスラエルの建国、エルサレムの首都化、「入植」支持

「イスラエルの為のキリスト教徒連合」ロビー活動

⑥白人福音派の焦り

自らの高齢化、若年層のNones化、ヒスパニックやムスリムの増加

プロテステント及びその福音派のマイノリティ化への危機感

⇩

候補者の信仰を重視するよりも、自分たちの道徳観=同性婚と中絶阻止、及び親イスラエルを重視

2016選挙のトランプ支持　白人福音派81%、カトリック52%

トランプの政策

①福音派リーダーへのホワイトハウス「絶対的アクセス権」の供与

②宗教団体の政治活動の許容

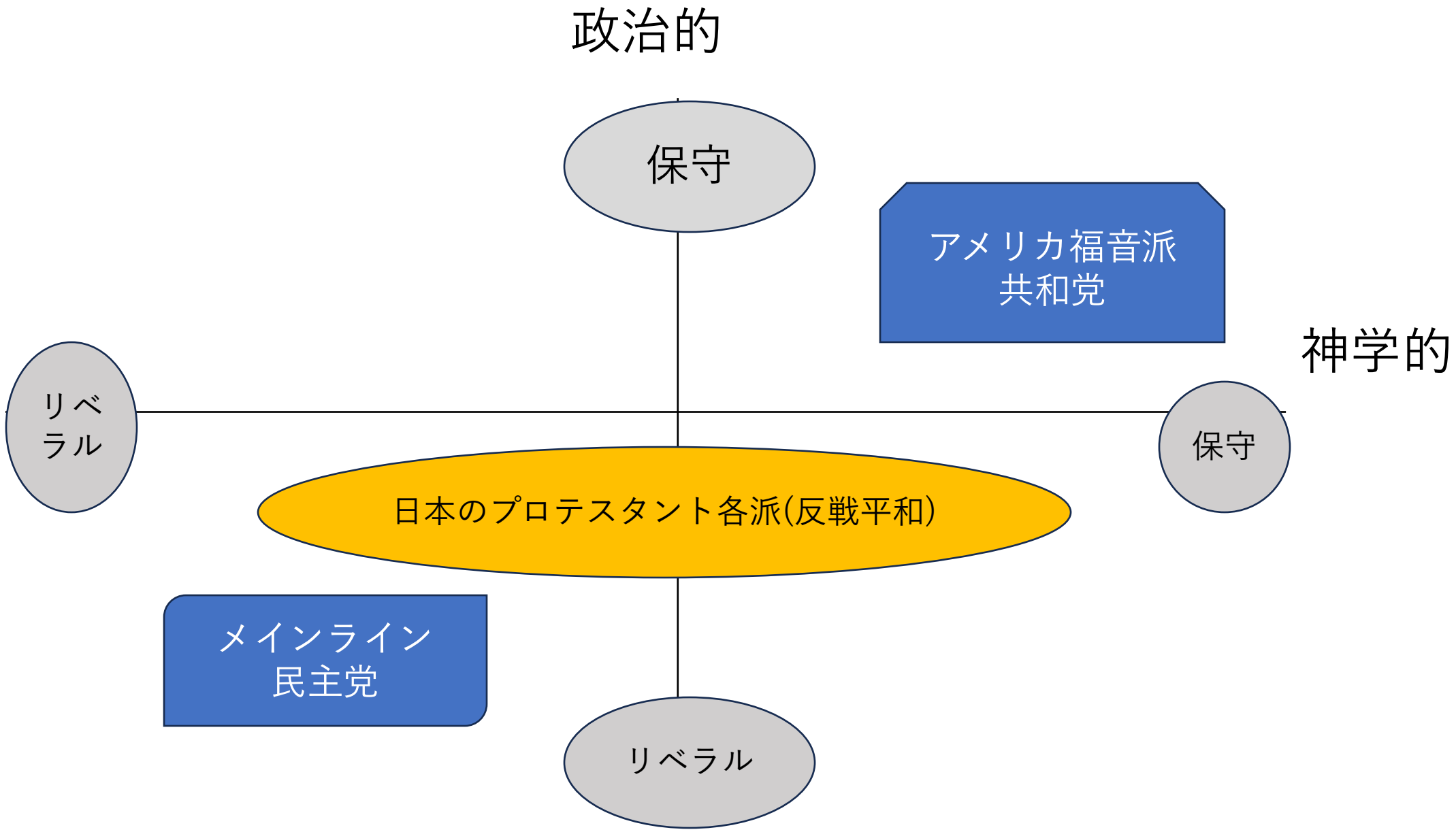
・ジョンソン修正条項(免税団体の政治活動禁止)の撤廃

・「言論と信教の自由を促進する大統領令」保守的宗教団体の政治活動

③最高裁判事の保守派入れ替え

④アメリカ大使館のエルサレム移転

アメリカのキリスト教


政治的
保守
アメリカ福音派
共和党
神学的
リベラル
保守
日本のプロテスタント各派(反戦平和)
メインライン
民主党
リベラル

日本のプロテスタント

主流派	福音派
○聖書は人間の書いたもの 現代の価値観 > 聖書 NCC(日本キリスト教協議会)　2600教会 「新共同訳聖書」 ・日本基督教団 (改革派、メソジスト、会衆派) ・日本聖公会 ・日本福音ルーテル教会 ・日本バプテスト連盟・日本バプテスト同盟 ・在日大韓基督教会	○聖書は神の霊感によるもの 現代の価値観 < 聖書 JEA(日本福音同盟)　2000教会 JEF(日本福音連盟) 「新改訳聖書」 日本イエスキリスト教団 日本ホーリネス教団 日本フリーメソジスト教団 日本ナザレン教団 日本同盟基督教団 日本バプテスト連合 日本ルーテル同胞教団 救世軍　等々

日本のプロテスタント

主流派／エキュメニカル派	福音派
教会派(教憲・教規派/伝道派) ○キリスト教会の役割重視 ○イエスの十字架と復活で示された神の愛による人間の罪からの救いを生活・態度・言葉で示すことが教会の使命 東京神学大学 関西学院大学	○聖書は完全に神の霊感によって書かれ、誤りなき神の言葉であるという聖書の十全感を信じる ・信仰的自由主義に対して福音主義 ・エキュメニカル派に対して福音派 ○聖書信仰 ○新生の教理 　聖霊により生まれ変わった者のみが洗礼を受け教会員資格を持つ ○偶像崇拝の厳禁 ・異教の玉串、焼香、神社参拝等禁止 ・神棚、仏壇などに頭をさげない 東京キリスト教大学
社会派 ○キリスト教の社会に対する役割重視 ○政治的・社会的運動にも積極的 ○自由主義神学の流れ ○社会的福音を強調 同志社大学	

主なミッションスクール

教派		大学	場所	神学婦
カトリック		上智大学	東京	神学部
		聖心女子大学	東京	
聖公会		立教大学	東京	
		桃山学院大学	堺	
プロテスタント	メソジスト	青山学院大学	東京	→東神大
		関西学院大学	西宮	神学部
	バプテスト	関東学院大学	横浜	
		西南学院大学	福岡	神学部
	改革・長老派	明治学院大	東京	→東神大
		東北学院大学	仙台	→東神大
	会衆派・組合派	同志社大学	京都	神学部
		神戸女学院大学	西宮	
	ルーテル	ルーテル学院大学	三鷹	神学部
	合同	東京女子大学	東京	
	日本基督教団	東京神学大学	東京	神学部
	福音派超教派	東京基督教大学	印西	神学部
超教派		国際基督教大学	三鷹	

宗教法人　日本基督教団高槻日吉台教会

礼拝プログラム

No.2952

２０２５年４月６日
受難節第５主日
復活前第２主日
礼 拝 式 順 序

説教　吉岡恵生
司会　網野穂高
奏楽　安田まどか

前　奏		奏楽者
招きのことば　詩編４３編１節		**司会者**
消灯式		牧　師
聖　書　ルカ２３章３２-４３節		
消灯の言葉		
黙　祷		一　同
賛　美　３０５（5節）		**一　同**
主の祈り　９３-５-A		**一　同**
交　読		**一　同**
詩編１１８編１-９節 P.133		**一　同**
賛　美　４３６		司会者
聖書朗読		
マタイ２０章２０-２８節 P.39		牧　師
祈　祷		一　同
賛　美　３００		牧　師
説　教　『イエスが招く杯』		牧　師
祈　祷		**一　同**
信仰告白（使徒信条）９３-４-A		**一　同**
賛　美　５６６		牧　師
４月の祈り		一　同
献　金		司会者
祈　祷		**一　同**
賛　美　２９（頌栄）		**牧　師**
派遣と祝祷		**一　同**
応答唱　４０-５		奏楽者
後　奏		司会者
報　告		

受　付：渡辺　恵、姜　月月
ライブ：滝澤温彦
当番役員：網野穂高、村川英一

ゴチックで表記のところが起立です

＜本日の集会＞
・CS 準備祈祷会　集会室２　9:00 a.m.
・CS 礼拝式　礼拝堂　9:15 a.m.
説教：斎藤裕子、奏楽：安田まどか
司会：北浦祐子
・シニアサンデーの集い　集会室１　9:45 a.m.
・礼拝準備祈祷会　礼拝堂　10:20 a.m.
・礼拝堂 1,2 階、集会室清掃
（CS スタッフ会、企画部会）　礼拝式後
・シニアサンデーの集い　集会室 1,2　清掃後
・聖歌隊練習　礼拝堂　清掃後
・CC 練習　礼拝堂　0:45 p.m.
・定例役員会　集会室 1,2　1:30 p.m.

＜今週の集会＞
・祈祷会　４月　９日（水）10:30 a.m.
聖書：Ⅰテサロニケ４章
・会計監査　４月 11 日（金）7:00 p.m.
・臨時役員会　４月 12 日（土）10:00 a.m.
・総会資料作成作業　４月 12 日（土）11:00 a.m.

＜次週 CS 礼拝式＞　４月 13 日（日）棕梠の主日
説教：吉岡恵生、奏楽：三森尚子
司会：長尾恭佳

＜次週主日礼拝式＞４月 13 日（日）棕梠の主日

招詞	マタイ２１章５節
消灯式	３０５（６節） ６本目のローソクを消灯します
聖書	マタイ２７章３２～５６節 P.57
説教	『イエスの叫び』
交読	詩編１１８編１９～２９節 P.134
賛美	３０７/３０９/３０６/４００
合唱	Ⅲ-６、Ⅱ-２５９
司会	北浦祐子
奏楽	三森尚子
受付	早原君子、山崎裕靖
ライブ	長尾恭佳
集会	聖歌隊練習（朝練）、チャーチカフェ、 聖歌隊練習、企画部会、 チームわくわく、オルガニストの会、 TJ 教会礼拝式、中国語講座

キリスト教の教派とミッションスクール

教派		関わった団体	学校法人	教育機関	所在地	神学部
カトリック		イエズス会	上智学院	**上智大学**	東京	◎1958
				栄光学園中・高	鎌倉市	
				六甲学院中・高	神戸	
				広島学院中・高	広島	
		マリア会	暁星学園	暁星小・中・高	東京	
		パウロ修道女会	白百合学園	白百合女子大・中・高	東京	
		聖心会	聖心女子学院	**聖心女子大学**	東京	○
		聖心侍女修道女会		清泉女子大学	東京	
		神言修道会	南山学園	南山大学	名古屋	○
		ノートルダム修養女会	ノートルダム女学院	京都ノートルダム女子大学・中・高	京都	
		フランシスコ女子修道院	藤学園	藤女子大学・中・高	札幌	
		幼きイエス会	雙葉学園	**雙葉中・高**	東京	
		ラサール修道会	ラ・サール学園	ラサール中・高	鹿児島	
聖公会		アメリカ聖公会	立教学院	**立教大学**	東京	○
			立教女学院	立教女学院小・中・高	東京	
		日本聖公会	平安女学院	平安女学院大学・中・高	京都	
			香蘭女学校	香蘭女学校中・高	東京	
			八代学院	神戸国際大学・高	神戸	
		イギリス聖公会	桃山学院	桃山学院大学	堺	
			松陰女学院	松陰女学院大学・中・高	神戸	
			プール学院	プール学院中･高	大阪	
	メソジスト	アメリカ・メソジスト監督教会	青山学院	**青山学院大学**	東京	→東神大1943
			活水学院	活水女子大学・中・高	長崎	
			鎮西学院	鎮西学院大学	諫早	
		アメリカ・メソジストプロテスタント教会	名古屋学院	名古屋学院大学	名古屋	
		アメリカ南メソジスト監督教会	関西学院	**関西学院大学**	西宮	◎1952
			広島女学院	広島女学院大学	広島	
		カナダメソジスト教会	東洋英和女学院	東洋英和女学院大学・中・高	横浜	
	バプテスト	アメリカ・バプテスト教会	関東学院	関東学院大学	横浜	1973廃止
			福岡女学院	福岡女学院大・小・中･高	福岡	
		アメリカ南部バプテスト教会	西南学院	**西南学院大学**	福岡	◎1966
			西南女学院	西南女学院大・中・高	北九州	
		アメリカ南長老教会	金城学院	金城学院大・中・高	名古屋	
			四国学院	四国学院大学	善通寺	
			明治学院	**明治学院大学**	東京	→東神大1930
			女子学院	**女子学院中・高**	東京	

プロテスタント	改革派教会・長老派教会	アメリカ長老教会	北星学園	北星学園大・中・小	札幌	
			北陸学院	北陸学院大・幼・小・中・高	金沢	
			大阪女学院	大阪女学院大・中・高	大阪	
		アメリカ・ドイツ改革派教会	東北学院	東北学院大学	仙台	○→東神大1937
		アメリカ・オランダ改革派教会	東奥義塾	東奥義塾高等学校	弘前	
			フェリス女学院	フェリス女学院大学	横浜	
	会衆派(組合派)	アメリカン・ボード	同志社	**同志社大学**	**京都**	**◎1947**
			神戸女学院	**神戸女学院大学・**	西宮	
			聖和大学(2013廃止)→関学		西宮	
			松山学院	松山学院高校	松山	
	ルーテル教会	アメリカ統一ルーテル教会	九州学院	九州学院中・高校	熊本	
			九州女学院	→ルーテル学院中・高等学校	熊本	
		日本ルーテル教団	ルーテル学院	ルーテル学院大学	三鷹	○
	その他	キリスト友会(クェーカー)	普連土学園	普連土学園中・高等学校	東京	
		ディサイプルス	聖学院	聖学院中・高、聖学院大学	東京	→青学神学部
	合同	北部バプテスト/アメリカ・カナダメソジスト/アメリカ長老/アメリカ改革派	**東京女子大学**		東京	○
	日本基督教団		**東京神学大学**		**三鷹**	**◎1949**
			梅花学園	梅花女子大・中・高	豊中市	
			松山東雲学園	松山東雲女子大・中・高		
	福音主義プロテスタント超教派(日本同盟基督教団)		**東京基督教大学**		**印西市**	**◎1990**
超教派				**国際基督教大学**	三鷹市	○